

# 5) 精神科外来場面での がん検診勧奨法の概要

令和3年度厚生労働科学研究

精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティを向上するための実装研究

分担研究：かかりつけ精神科の臨床場面における精神障害者に対するがん検診勧奨法の

実施可能性の検討-多施設介入研究

2021年11月16日 ver1.0

# ガイドに沿った、ケースマネジメント による個別勸奨法について

# ガイドに沿った、ケースマネジメントによる個別勧奨法の概要

大腸がん検診の受診を特に推奨する者は40-69歳

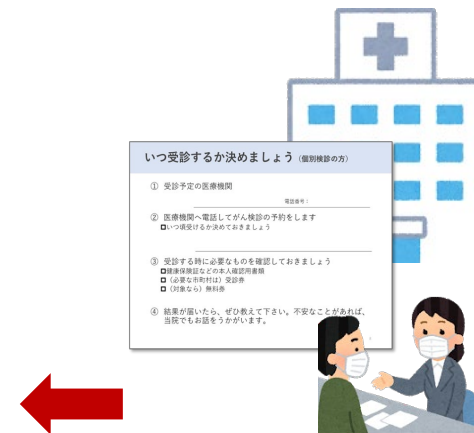
40-69歳の**統合失調症**  
患者  
=がん検診未受診  
ハイリスク者

個別勧奨し、その後数年  
年間検診受診しやすく  
する患者

- 毎年40歳/50歳/60歳となった人からはじめる



市町村による住民に対する勧奨  
=市の検診ガイドの配布



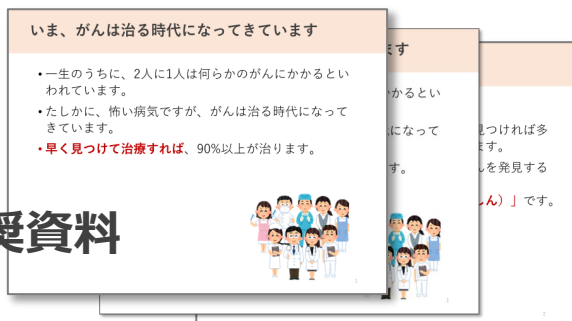
ケースマネジメントによる個別勧奨

毎年継続することで、がん検診の意義や手続きを  
全対象者に知ってもらう

# 個別勧奨資料の構成について

- ・ 勧奨資料で説明しながら、患者さんの居住地の「けんしんガイド」を確認して、受診先・スケジュールを一緒に決める構成になっています

## 勧奨資料



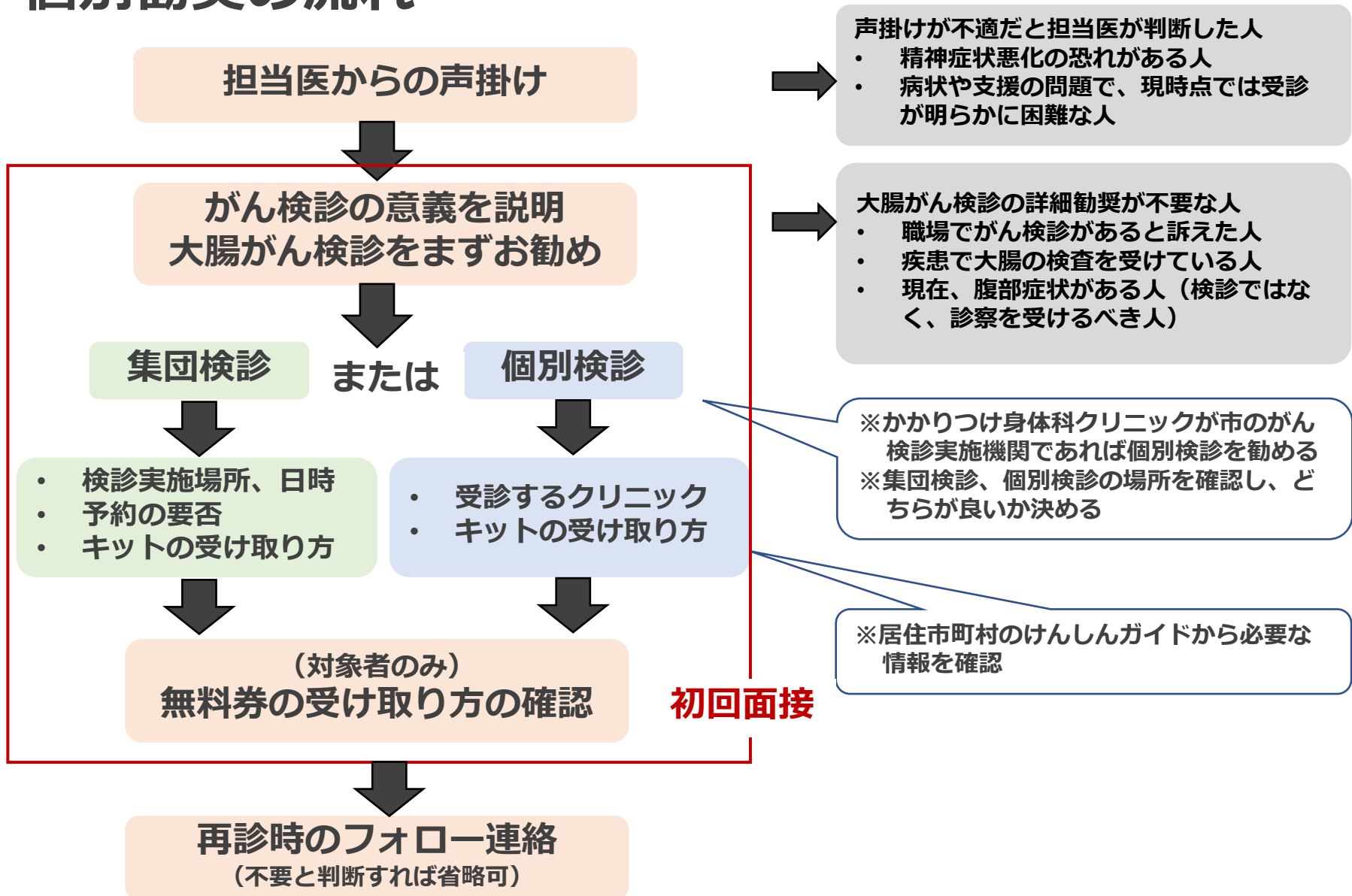
## いつ受診するか決めましょう (個別検診の方)

- ① 受診予定の医療機関  
電話番号 : \_\_\_\_\_
- ② 医療機関へ電話してがん検診の予約をします  
 いつ頃受けるか決めておきましょう  
\_\_\_\_\_
- ③ 受診する時に必要なものを確認しておきましょう  
 健康保険証などの本人確認用書類  
 (必要な市町村は) 受診券  
 (対象なら) 無料券
- ④ 結果が届いたら、ぜひ教えて下さい。不安なことがあれば、当院でもお話をうかがえます。

一緒に決めて記入して持ち帰る

患者さんの居住地の  
けんしんガイド

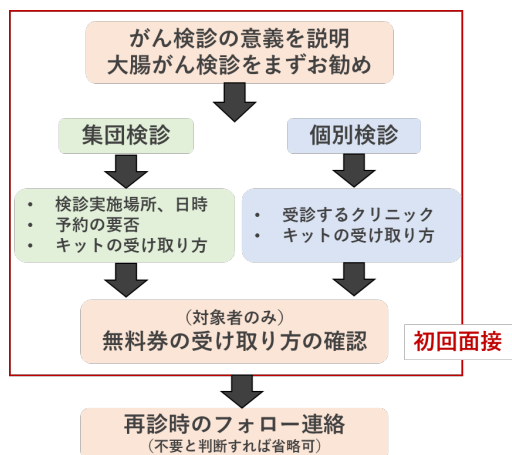
# 個別勧奨の流れ



# 個別勧奨で行う説明・サポートは、濃淡があってよい

その患者はどのくらい自分でできる？/サポートが必要？

- 機能の低い患者さん
  - 例：陰性症状/認知障害の強い患者さん
- 機能が中等度の患者さん
  - 例：A型事業所等で就労できている患者さん
- 機能が低い患者さん
  - 例：一般就労/十分に家事や子育てができている患者さん



患者さんの機能に応じて、どこまで行うかは臨床的に判断する  
(ケースマネジメント)

# 勧奨を受けた患者さんの声

## 勧奨でどの点が役にたちましたか？ (複数回答可)

	介入群 (N=68)	
	受診あり (N=38)	受診なし (N=30)
大腸がん検診の説明	31 (81.6%)	17 (56.7%)
無料券の説明	17 (47.4%)	10 (33.3%)
受診までの予定をたてた	4 (13.2%)	2 (6.7%)
後日確認の連絡があった	15 (39.5%)	5 (16.7%)
担当者がついてくれたところ	19 (50%)	8 (26.7%)
役に立った点はない	5 (10.5)	8 (23.3%)

### (具体的な感想)

- ✓ 気になっていたもので、良いきっかけになった。続けてほしい。
- ✓ よくわからないので受けていなかった。これなら受けられると思った。
- ✓ 無料なら受けてみようと思った。知らなかった。

ほとんどの方が、説明  
を受けることで自分で  
手続きができています



## ※勧奨の際に注意が必要な患者さん

- 精査や治療を全く受ける気がない患者さん
- 検診が完璧ではないこと（不利益）を許容できない患者さん
- 検査やがんが見つかることに強い不安を訴えている患者さん
- その他、受診を勧めない方がよいと考えられる患者さん

難しい方には、がん検診の  
情報提供にとどめる場合も  
あります





# 6) 勸奨資料を用いた大腸がん 検診の説明方法

令和3年度厚生労働科学研究

精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティを向上するための実装研究

分担研究：かかりつけ精神科の臨床場面における精神障害者に対するがん検診勸奨法の

実施可能性の検討-多施設介入研究

2021年11月16日 ver1.0

# 勧奨スライド①

いま、がんは治る時代になってきています

- 一生のうちに、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれています。
- たしかに、怖い病気ですが、がんは治る時代になってきています。
- **早く見つけて治療すれば**、90%以上が治ります。



- ✓ 勧奨を受けて受診した人の多くは、「がんを予防/早期発見したいから受けた」と回答しています
- ✓ 「がんが怖いから受けた」と回答する人は多くありません

がんの怖さを強調するよりも、早くがんを見つけて治療することの利益を伝えるのがポイントです

# 勧奨スライド②

## がんは早期発見がとても大事です

大腸がん  
検診

- 40歳以上の方、毎年
- 便潜血検査

肺がん  
検診

- 40歳以上の方、毎年
- 胸のレントゲン検査

胃がん  
検診

- 50歳以上の方、2年に1回
- 胃カメラまたは胃バリウム検査

乳がん  
検診

- 40歳以上の方、2年に1回
- マンモグラフィ検査

子宮頸がん  
検診

- 20歳以上の方、2年に1回
- 子宮細胞診検査

- がんは、早く見つければ多くの人が治ります。
- 早いうちにがんを発見するための検査が「**検診（けんしん）**」です。

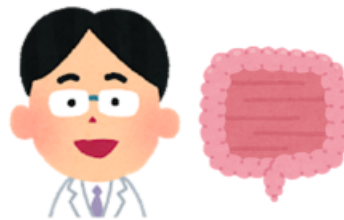
今回の勧奨では、大腸がん検診をまずお勧めします

その理由は、次のスライドに

# 勧奨スライド③

## 大腸がん検診を受けましょう

- 早くみつかれば、負担の少ない治療が可能です。
- 大腸がんは、ほとんど症状がないので早く発見することが大事です。
- 40歳以上で最もなりやすいがんの1つです。



3

今回の勧奨では、大腸がん検診をまずお勧めします

- ✓ 早期発見できれば、負担の少ない治療（内視鏡治療）などで高率に完治する
- ✓ ほとんど症状がなく発見が難しいから検診が大事
- ✓ 日本人で増えており、40歳以上で最もなりやすいがんの1つ

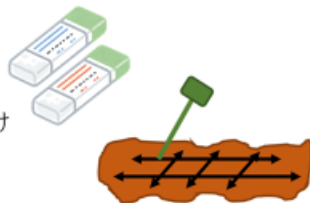
# 勧奨スライド④

## 大腸がん検診は、自宅でできる便検査です

- 自宅で便を2日にわけて2回とって、提出するだけです。
- 異常が見つかった時にだけ、大腸カメラで詳しい検査をうけます。

### べんせんけつけんさ 便潜血検査

- 便の表面をこすって容器に入れて提出するだけ
- 検査キットに詳しい説明書が入っています



※検診は完璧ではありません。がんではないのに「精密検査が必要」と判定される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。  
※そのため、毎年受けることが大事です。

4

自宅でできる便の検査で、簡単であることを伝えます

異常が見つかった時にだけ、大腸カメラで詳しい検査を受けることを説明します  
(全員大腸カメラではない)

- ✓ 便潜血で要精査となって大腸カメラを受けてもがんではない場合があります
- ✓ また、便潜血検査は毎年受けることが大事です

# 勸奨スライド⑤

市町村の補助で安い料金で受けられます！

- 40歳になる年から、お住いの市町村でがん検診を受けることができます。ご自宅に案内が届いています。



- 大腸がん検診は、500～1000円程度で受けられます。

★市民税非課税世帯の方、生活保護等受給世帯の方は、無料で検診が受けられる「無料券」がもらえる市町村もあります

あとで詳しく説明します

近隣市町村のガイドの画像に差し替えて下さい  
毎年色が違ったりするが、レイアウトは大きくかわらないことが多い

市町村の補助で安く受けられることを伝えます

「無料だから受けた」という人も多いので、無料券の情報もお伝えします

# 勸奨スライド⑥

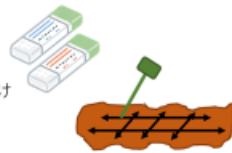
## 大腸がん検診の受けかた

1. 検診を受ける場所を決めます。
2. 検査セットと問診票を取りに行きます。  
(※郵送される市町村もあります)
3. 自宅で便を2日にわけて2回容器にとります。
4. 2本の容器を提出します。
5. 検査結果が郵送されてきます。  
(※クリニックに聞きに行く場合もあります)

精密検査が必要と言われた場合は、詳しい検査(大腸カメラ検査)を必ず受けましょう。心配や不安があればご相談ください。

### 便潜血検査

- 便の表面をこすって容器に入れて提出するだけ
- 検査キットに詳しい説明書が入っています



あとでぜひ一緒に  
相談しましょう

ここで、大腸がん検診の受け方を説明します

後で、患者さんの居住する市町村の「けんしん」ガイドを見ながら、一緒に決めていきます

- ✓ 精密検査の必要性を説明します。
- ✓ 「要精査」となってから、精査の結果がわかるまでは不安になりやすい時期です。不安があったり、手続きでわからないことがあれば、相談するように伝えます。

# 勸奨スライド⑦

## 大腸がん検診を受けましょう

- あなたが行きやすい検診施設を一緒にお探しします
- (対象なら) 無料券の手続き方法をご案内します



難しい方には、がん検診の  
情報提供にとどめる場合も  
あります。





# 7) 勸奨資料を用いた受診先の 決め方

令和3年度厚生労働科学研究

精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティを向上するための実装研究

分担研究：かかりつけ精神科の臨床場面における精神障害者に対するがん検診勸奨法の

実施可能性の検討-多施設介入研究

2021年11月16日 ver1.0

# 勧奨スライド⑧

## 受診しやすい検診施設はどこでしょうか

1. かかりつけの内科や外科はありますか？
  - かかりつけ医でできるかどうか、お調べします

2. 受診しやすい方法を一緒に決めましょう

個別検診（医療機関を予約して受ける）

✓自分の都合がよい時期に予約することができます

集団検診（地域の保健センターや公民館で受ける）

✓日にちが限られていますが、家から近い場所もあります

郵送検診（郵送で便潜血検査を提出する）

※実施している市町村は限られます

近隣市町村が行ってない場合は  
削除してください

かかりつけ医がある場合、患者さんの居住している市町村の検診実施施設かどうかを確認します

イチから探す場合、選択肢が多いので、ある程度こちらから提案することが有効です。

- ✓ 個別＞集団（かかりつけ医を作るきっかけ、都合がよい時期を選ぶ）
- ✓ 家から近く患者さんが知っているところは？

# 勸奨スライド⑨ -個別検診用

## いつ受診するか決めましょう（個別検診の方）

① 受診予定の医療機関

電話番号： \_\_\_\_\_

② 医療機関へ電話してがん検診の予約をします

いつ頃受けるか決めておきましょう

③ 受診する時に必要なものを確認しておきましょう

健康保険証などの本人確認用書類

(必要な市町村は) 受診券

(対象なら) 無料券

④ 結果が届いたら、ぜひ教えて下さい。不安なことがあれば、当院でもお話をうかがいます。

## 個別検診

- ✓ かかりつけの場合、再診日に相談してもらってもよい
- ✓ できるだけ患者が知っている医療機関を選び、受診時期を決めるように支援
- ✓ 「市のがん検診を受けたいです」と電話で予約（必要ならサポートする）
- ✓ 検診なので通常紹介状は求められない
- ✓ 事前郵送された「受診券」が必要な市町村もある

# 勸奨スライド⑩ - 集団検診用

## いつ受診するか決めましょう (集団検診の方)

- ① 受診予定の日程と会場を決めましょう

場所： \_\_\_\_\_ 日時： \_\_\_\_\_

- ② 市町村によっては予約の電話が必要です

予約電話先： \_\_\_\_\_

- ③ 事前に検査キットと問診票を取りにいきましょう

取りに行く場所： \_\_\_\_\_

- ④ 受診する時に必要なものを確認しておきましょう

- 健康保険証などの本人確認書類
- (必要な市町村は) 受診券
- (対象なら) 無料券

- ⑤ 結果が届いたら、ぜひ教えて下さい。不安なことがあれば、当院でもお話をうかがいます。

## 集団検診

- ✓ 日程と、受ける場所、キットを取りに行く場所を確認
- ✓ 事前郵送された「受診券」が必要な市町村もある

# 勸奨スライド①① -郵送検診用

## いつ受診するか決めましょう (※郵送検診の方)

① 受診の申し込み方法、キットの受け取り方を確認しましょう

いつごろ申し込みますか？

② 結果が届いたら、ぜひ教えて下さい。不安なことがあれば、当院でもお話をうかがいます。

10

## 郵送検診（キットを郵送提出）

### ※一部の市町村での実施

- ✓ 申し込みをするとキットが自宅に郵送されるが、手続きが市町村によって異なる
  - 市にハガキを送って申し込む
  - 保健センター等の窓口で申し込む
- ✓ 郵送検診は、実施時期が秋～冬となっていることが多いことに留意

# 勸奨スライド⑫

## (対象なら) 無料券を受け取りましょう

- 市民税非課税世帯の方、生活保護等受給世帯の方は、無料で検診が受けられる「無料券」がもらえる市町村もあります。
- 検診を受ける前に、申請する必要があります。
- 市の「けんしんガイド」で、手続きの仕方を確認しましょう。

手続きをする窓口：

へ取りに行く

へ電話する



10

**無料券がある市町村では事前に申請、入手します**

**多くの市町村では、窓口まで受取りに行く必要があります**

**電話して郵送してくれる場合は明記されています**

**非課税世帯かどうかわからなければ、窓口に尋ねることができます**

# 勸奨スライド⑬

## その他のがん検診もぜひ受けましょう

### 肺がん検診

- ・40歳以上の方、毎年受けましょう
- ・胸のレントゲン写真をとります

### 胃がん検診

- ・50歳以上の方、2年に1回受けましょう
- ・胃カメラ、または胃バリウム検査

女性のみ

### 乳がん検診

- ・40歳以上の方、2年に1回受けましょう
- ・マンモグラフィ検査

女性のみ

### 子宮頸がん検診

- ・20歳以上の方、2年に1回受けましょう
- ・子宮細胞診検査

わからないことが  
あれば相談して  
くださいね！



11

その他の検診もお勧めします

肺がん検診と一緒に検診施設  
がお勧めして受ける方が多い  
です

この説明だけでも、その他の  
がん検診受診率の向上効果が  
示唆されています。

## 8) 翌年度以降のチラシ勧奨

令和3年度厚生労働科学研究

精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティを向上するための実装研究

分担研究：かかりつけ精神科の臨床場面における精神障害者に対するがん検診勧奨法の

実施可能性の検討-多施設介入研究

2021年11月16日 ver1.0



# チラシ勧奨について

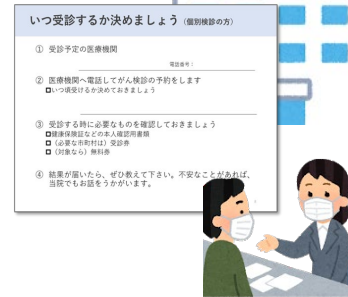
40-69歳の統合失調症患者  
=がん検診未受診ハイリスク者

個別勧奨し、その後数年間検診  
受診しやすくする患者

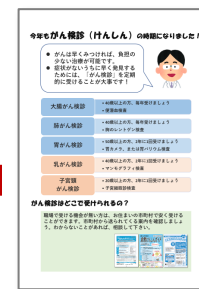
- 40歳/50歳/60歳となった人

翌年度以降

ケースマネジメントによる  
個別勧奨



継続的に、担当医がチラシ  
を用いた簡易勧奨  
(チラシ勧奨)



# 勸奨チラシ

今年もがん検診（けんしん）の時期になりました！

- がんは早くみつければ、負担の少ない治療が可能です。
- 症状がないうちに早く発見するためには、「がん検診」を定期的に行うことが大切です！



## 大腸がん検診

- 40歳以上の方、毎年受けましょう
- 便潜血検査

## 肺がん検診

- 40歳以上の方、毎年受けましょう
- 胸のレントゲン検査

## 胃がん検診

- 50歳以上の方、2年に1回受けましょう
- 胃カメラ、または胃バリウム検査

## 乳がん検診

- 40歳以上の方、2年に1回受けましょう
- マンモグラフィ検査

## 子宮頸がん検診

- 20歳以上の方、2年に1回受けましょう
- 子宮細胞診検査

## がん検診はどこで受けられるの？

職場で受ける機会が無い方は、お住まいの市町村で安く受けることができます。市町村から送られてくる案内を確認しましょう。わからないことがあれば、相談して下さい。



「主治医からの勧め」が、患者さんにとって主な受診のきっかけになることがわかっています！

近隣市町村のガイドの画像に差し替えて下さい